

要素宣言

DTDの記述例	説明
<!ELEMENT 親要素 (子要素)>	括弧の中に子要素を書く
<!ELEMENT 子要素 (内部モデル)>	子要素の性質を内部モデルとして定義する.
<!ELEMENT a (#PCDATA)>	要素aの内容が文字データである.
<!ELEMENT a ANY>	要素aの内容に何かが出現してもよい.
<!ELEMENT a EMPTY>	要素aには何も含まれない (空要素) .
<!ELEMENT a (a,c, ...)>	左から書かれた順に子要素が出現する.
<!ELEMENT a (b c ...)>	で区切られた子要素のうち、どちらか1つが出現する.
<!ELEMENT a (b)>	子要素は必ず1回出現する.
<!ELEMENT a (b?)>	子要素は0回 or 1回出現する.
<!ELEMENT a (b*)>	子要素は0回以上出現する.
<!ELEMENT a (b+)>	子要素は1回以上出現する.

属性値の候補 (一部)

指定方法	説明
(値1 値2 ...)	で区切った値のいずれかを使う.
CDATA	文字データである値を使う.
ENTITY, ENTITIES	実体名である値を使う.

デフォルト値の指定

指定方法	説明
#REQUIRED	必ず属しを指定しなければならない.
#IMPLIED	属性を省略できる.
"値"	属性の初期値 (デフォルト値) となる.
#FIXED "値"	属性は、必ずこの値となる.